

31th

骨リモデリングにおける 骨細胞機能：in silico 実験に よるシステムの理解



安達 泰治 先生

京都大学 医生物学研究所
教授

11/27^{THU} 16:00-17:00

骨はリモデリングにより力学環境に機能的に適応し、その制御には力を感じ取る骨細胞が重要な役割を果たしている。本研究では、in vitro実験に基づく数理モデリングとin silicoシミュレーションにより、骨粗鬆症や損傷修復と密接に関わる骨リモデリングにおける骨細胞の役割の理解を目指している。数理・力学・生物学を統合するシステムの理解を紹介し、実験・イメージング研究との連携を通じた医生物学応用への期待について議論する。

参加方法

会場：大阪大学・ニコンイメージングセンター（大阪大学医学系研究科 臨床研究棟 L階）
ご所属、お名前を記載の上、register@handai-nic.com宛にご連絡ください。

オンライン：ZOOMにて実施します。下記フォームよりお申込みください。
<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2025-10-22/2zgsn7>

お問合せ

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
Email: Nsl-bio.Marketing@nikon.com



オンライン参加
申込フォーム